

れんけい

題字：松尾信彦書

香川県立中央病院
Kagawa prefectural central hospital

当院が、「日本胃癌学会認定施設 A」として認定されました！

消化器・一般外科（上部消化管グループ）田中 則光

2023年4月から、日本胃癌学会認定施設制度が制定され、このたび当院は認定施設 A（全国で127施設、香川県内では2施設）と認定されました。詳しくは、日本胃癌学会ホームページ（https://www.jgca.jp/nintei_02.html）をご覧ください。

我が国の胃癌治療は、予防・診断・内視鏡治療・外科手術・薬物治療において世界をリードしている領域です。一方で、胃癌治療を取り巻く状況や治療体系は日々目まぐるしく変化しています。具体的には胃癌罹患数の減少や高齢化、高難度手術である食道胃接合部癌の増加、ロボット手術、免疫治療などが挙げられ、胃癌治療の高度化・多様化・専門化の傾向がみられています。この状況を踏まえ、質の高い胃癌治療を広く社会に提供していくことを目的に日本胃癌学会において施設認定制度が今年度から制定されました。施設要件としては、①専門医（内視鏡医・消化器外科医・内視鏡外科技術認定医・病理医・腫瘍内科医）の常駐、②胃癌症例数（内視鏡切除・外科手術・薬物治療）、③学術（英語論文・発表）、④院内体制（迅速病理や緊急対応等）を満たすこととされています。

当院の消化器外科上部消化管グループは、根治を目指した低侵襲手術（ロボット手術）や薬物治療を併用した拡大手術（術前化学療法や Conversion 手術）を積極的に取り入れており、QOL 含め患者さんの予後向上を目指した安全な診療に努めています。近年、増加傾向にある食道胃接合部癌においても、上部消化管グループでの枠組みで診療を行っているため、食道癌手術と胃癌手術の双方を取り入れた柔軟な手術を実践しています。

また、術後の日常生活をお元気に過ごしていただくことにも配慮し、初診時からの栄養・運動療法、さらに胃癌術後に多いとされている骨粗鬆症を防ぐための骨のケアについて、リハビリ医や管理栄養士と協力して積極的に患者さんの QOL 向上に取り組んでいます。

当科上部消化管グループでは、香川県における食道癌 / 食道胃接合部癌 / 胃癌を含めた上部消化器癌の「さらなる予後向上」に努めてまいります。ご紹介やご相談についてはいつでも受け付けておりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



自己心膜による大動脈弁形成術

心臓血管外科

人工弁について

大動脈弁狭窄症は通常人工弁置換が必要ですが、人工弁を逢着するためのリングが入っており、その分面積が狭くなること、自己の弁輪部が生理的な動きができないことから特に小さいサイズの人工弁しか入らない場合は血流に不利な構造となっています。

機械弁では抗凝固剤（ワーファリン）が一生必要であり、コントロールが不安定となると出血性合併症や血栓塞栓症、人工弁機能低下による心不全のリスクを伴います。高齢の方には生体弁が使用され、ワーファリンは不要ですが15年前後で弁の変性が起こってくるため、将来、再手術が必要となる可能性があります。また、時に人工弁に感染を起こすリスクもあります。

2種類の人工弁

機械弁



生体弁



若年の大動脈弁狭窄症

大動脈弁狭窄症の多くは高齢者ですが、人口の1～2%と言われる先天性二尖弁の症例では若年で大動脈弁疾患を発症するケースが多く、出産予定のある女性、スポーツや活動的な仕事をされるような患者さんでは、ワーファリンの内服が出血性合併症のリスクとなります。また定期的に通院、血液検査をしてワーファリンを調整して処方を受けることが容易でない患者さんも少なからずおられます。一方、若年の患者さんは耐久性の点から従来の生体弁は使用しにくくなり、結果、治療選択は限られます。

自己心膜による大動脈弁形成術

人工弁は長年にわたり改良されてきましたが、上記のデメリットは解決されていません。当院では2021年11月に自己心膜による大動脈弁置換術を始めました。この方法は東邦大学大橋病院、尾崎重之先生により開発された、自己心膜をグルタルアルデヒド溶液で化学的に処理し、自己の弁輪の形状とサイズに合わせて切り取ったものを3枚用意し、変性した自己弁を切り取ったあとに縫い付けて、大動脈弁を再生する方法です。抗血小板剤を術後半年で中止でき、ステント部分がないため血流の障害になりません。主に若年の二尖弁の方におすすめしていますが、小さい人工弁しか入らない狭小弁輪の患者さんにも有効です。

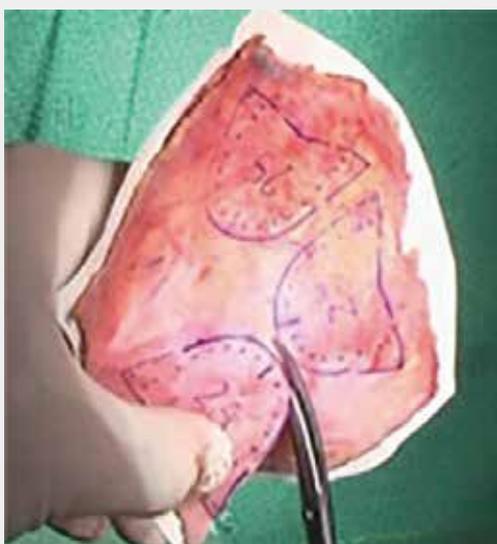
特 徴

メリットは抗血栓剤が不要となること、血行動態が良好であること、人工物がないことで、開始されてから約15年経過していますが耐久性も徐々に証明されてきています。現在国内のみならず世界で広がりつつある治療です。

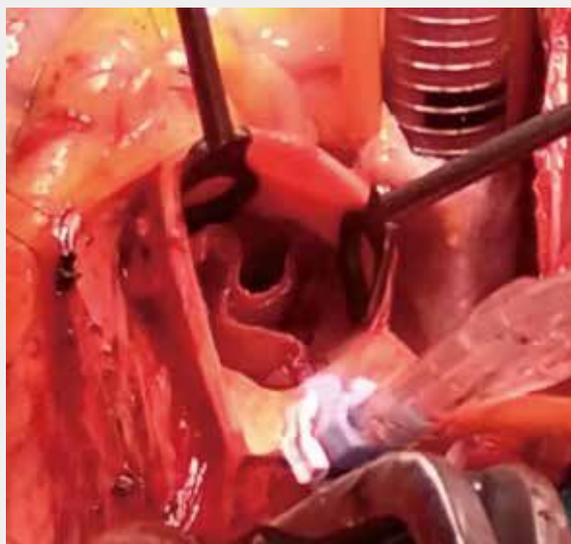
また、通常の人工弁が約100万円、TAVI弁が約450万円と高価なものであり、医療経済の点からも自己心膜による大動脈弁形成術はメリットを備えています。



自己心膜による大動脈弁形成



3つの弁尖を作成しているところ



完成後

大動脈弁疾患の治療選択

大動脈弁治療は年齢、患者さんのお仕事や生活スタイル、ご家族の背景などによりいろいろな選択肢が存在します。弁置換であれば生体弁か機械弁か、TAVIができるかどうか、小切開手術など、また人工弁が変性した場合に将来の再手術にもいろいろな選択肢が存在し、現在学会でも議論になっており、今後、平均寿命の延長にしたがってさらに治療戦略が多様化することが予想されます。その中で自己心膜による大動脈弁形成術は、患者さんに寄与できる大きな選択肢になり得ると考えています。特に若年の大動脈弁狭窄症の患者さんにおすすめできる方法ですが、それに限らずご相談下さい。



←心臓血管外科
ホームページ

退職者の挨拶



前副院長（血液内科・腫瘍内科・遺伝子診療科） 川上 公宏

私的な事情により2023年3月末日をもちまして、2007年6月よりお世話になった香川県立中央病院を定年前で早期退職いたします。

学生、研修医、大学病院勤務時代にお世話になった香川県の中核医療機関である当院に勤務するにあたり、長年の夢が実現した喜びと課せられた責任の重さを感じたのを昨日の様に思い出します。香川県民のために「医療の地域格差をなくす、日本でできる治療は香川県で行える様にする」という目標を持って今日まで勤務させて頂きました。15年という長いようで短い期間でしたが、この夢の実現を目指して皆様と共に過ごした日々は、生涯最高の宝物です。皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

これから新たな夢を実現すべく新たな一步を踏み出しますが、香川県から離れる予定はありません。お会いする事もあると存じます。その際は変わらぬご厚誼をお願いいたします。

最後となりますが、皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。我が香川県立中央病院は不滅です。



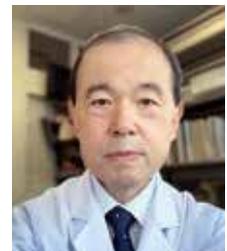
前副院長兼看護部長 鳥山 宏美



本年3月末をもって退職を迎えることになりました。39年間で振り返ってみると、多くの患者さん・ご家族、そして一緒に働いてきたたくさんの仲間との出会いがありました。その経験は、私にとって何ものにも代えがたい宝となりました。看護部長になってからは、コロナと戦いながらの3年間でした。今までに前例がない状況に直面し、じっくり考える余裕もなく判断や決断に迫られる場面が続き、急な対応をお願いしたことも多々ありました。そのような大変な状況でも、病院職員の皆様が粛々と対応して下さい、この危機を乗り越えられたと思っています。本当に感謝しかありません。県立中央病院は県民から信頼され期待されている病院です。今後も皆様のご活躍を心より願っております。

中央検査部 部長 馬場 伸介

本年3月末をもちまして定年退職いたしました。平成18年11月に中央病院に赴任し肝臓内科、中央検査部でお世話になり、高口院長をはじめ、ご指導ご支援いただいた皆様に心から感謝申し上げます。そのほかNST、検診センター、産業医活動などのお手伝いのできたこと嬉しく思っております。なお、退職後はしばらくの間、引き続き中央検査部に勤務させていただくことになりました。これまでの経験を活かし努めてまいりますのでよろしく願いいたします。顧みますと皆様のやさしさに支えられた17年余りでした。本当にありがとうございました。



放射線部 前技師長 安藤 直美



昭和59年に診療放射線技師となり、民間病院に就職し、平成2年に県職員に採用されました。がん検診センター・保健所・中央病院に勤務し、無事定年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご助力があってこそで、お世話になりました。女性で放射線部技師長になったのが初めてで、うまく放射線部の指揮者になれずご迷惑をおかけしましたが、無事1年が過ぎて感謝いっぱいです。

コロナ対策でここ数年大変でしたが、きっと明るい未来が開け、宴会ができる日は近いに違いないと信じています。香川県立中央病院のますますのご発展をお祈りしております。

栄養部 前技師長 櫻又 直美

昭和60年5月香川県立中央病院に栄養士として配属され、その後がん検診センター準備室・保健所・高松市派遣等を経て、約15年間香川県立中央病院でお世話になりました。何もかもがアナログ生活をしていた入庁当時を振り返ると、栄養士として関わる業務も時代の変遷とともに大きく変化してきたことを感じずにはいられません。O-157による食中毒への対応や給食業務の委託、また最近ではコロナ禍での栄養食事指導や食事対応等、様々なことを学ばせていただきました。今まで私と関わりご指導いただきました多くの方々との出会いは私の宝物です。

県立病院として大きな役割を担う香川県立中央病院の皆様方の今後益々のご発展・ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



認定・専門看護師コラム
「認知症ケアチーム活動中」

その4

認知症看護認定看護師 松下 彩

「2025年問題」をご存じですか？団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、65歳以上の5人に1人が認知症になると予想されていることを指します。当院でも認知症のある患者さんの入院が年々増えており、多職種で構成された認知症ケアチームが活動しています。医師、認知症看護認定看護師、公認心理師、社会福祉士、作業療法士が主なメンバーとなっています。認知症になると、環境の変化に適応することがとても苦手になります。

入院による環境の変化で見慣れない人や部屋に戸惑い、できていたことができなくなったり、家に帰りたくて落ち着きがなくなったりする患者さんもいます。そのようなときは、認知症の人の視点に立って困りごとを考えるように心がけています。入院前の認知機能を維持しながら、安心して入院生活を過ごせることがチームの目標です。入院前の生活リズム、性格、(元)職業、趣味などあらゆる情報を集め、病棟看護師と共にケアを考えています。

また、患者さんの認知機能に合わせ、塗り絵や計算ドリル、季節に合わせた作品の製作を行うなどの院内デイケアも個別に行っています。



食事づくりのポイント～「栄養バランスのよい食事」とは？～

栄養部 松下 友美

「栄養バランスのよい食事」は、健康な人も含めて、すべての人の食事の基本となります。

では、「栄養バランスのよい食事」とは、具体的にどのようなもののでしょうか。実際に病院で提供している食事を例にご説明します。

<栄養バランスのよい食事のポイント>

主食・主菜・副菜が揃っていること



①主食

ご飯・パン・めん類などの料理で、主に炭水化物の供給源。

②主菜

魚や肉、卵、大豆製品などを使った料理で、主にたんぱく質の供給源。

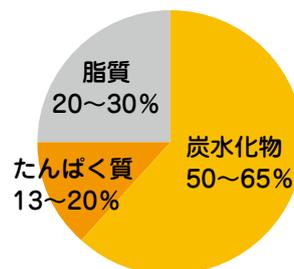
③副菜

野菜・きのこ・海藻類などを使った料理で、ビタミン・ミネラル・食物繊維の供給源。

主食・主菜・副菜を揃えて食べると、各栄養素をバランスよく摂取することができ、体の中での消化・吸収も良くなります。エネルギー摂取量に占める「炭水化物」「たんぱく質」「脂質」の割合の目標量は右のグラフのとおりです。

病院食では、この目標量に沿って献立を作成しています。食欲不振がある患者さんへの食事調整も、なるべく栄養のバランスがよくなるよう、食事内容を提案しています。

また、患者さんと食事の話をさせていただく中で、おかずだけを食べるという方がいらっしゃいますが、主食を抜くと、たんぱく質や脂質の摂取量が増えるほか、おかずには調味料を多く使用している場合もあり、塩分を摂りすぎてしまう可能性があります。毎食、主食・主菜・副菜が揃うように心がけましょう。



▲エネルギー摂取量に占める三大栄養素の割合の目標量

薬剤部だより

～薬・薬連携の取り組み～

薬剤部長 安部 浩美

高齢化社会が進む今、患者さんが退院後も治療を続けながら、できるだけ住み慣れた地域で過ごせる体制作りが進められています。その中で、病院とかかりつけ医や保険薬局が情報共有を行い、患者さんが安心して薬物治療を続けられるような連携（薬・薬連携）が求められています。

薬剤部では2011年から保険薬局と地域薬薬連携研究会を開催しています。また、転院先や保険薬局に、入院患者さんの薬に関する情報を提供したり（薬剤管理サマリー）、保険薬局からの患者さんのアドヒアランスや副作用に関する情報（トレーニングレポート）を医師へ情報提供するなど、薬の適正使用に繋がる取り組みを積極的に行っています。

今回連載を担当することとなり、私達が一番大切にしている「薬・薬連携の取り組み」について紹介していきたいと思えます。そして、地域の先生方と力を合わせ、患者さんの安全な薬物治療に繋げていきたいと考えていますので、よろしくお願いたします。



医療セミナーのご案内

日時 ● 令和5年6月15日（木）
19：00～

講師 ● 小児科 部長 宮井 貴之
テーマ ● 「小児科腎臓診療～尿にまつわる common な主訴の rare な疾患を含めて～」

日時 ● 令和5年8月3日（木）
19：00～

講師 ● 消化器・一般外科 部長 田中則光
テーマ ● 「未定」 ※テーマは決定次第、お知らせいたします。



医療セミナーのページがご覧いただけます。

学会のご案内

「日本緩和医療学会
第5回中国・四国支部学術大会」

会期
・2023年8月26日（土）
会場
・レクザムホール〔香川県県民ホール〕
大会長
・緩和ケア内科 診療科長 仁熊 敬枝
テーマ
・「本当の望みをかなえる
～ Do what they need ～」



詳細は学会のホームページから、ご覧いただけます。

「第11回
日本結節性硬化症学会学術総会」

会期
・2023年9月16日（土）
会場
・かがわ国際会議場〔サンポートシンボルタワー棟6階〕
会長
・脳神経外科 診療科長 市川 智継
テーマ
・「れんけい」



詳細は学会のホームページから、ご覧いただけます。

大変申し訳ありません。『おつうじにまつわるうんちくその25』は紙面の都合で次号に掲載いたします。

医師の人事異動 転出

(3月31日付)

- 西山 将 (総合診療科)
- 根岸 慎 (消化器内科)
- 金森 大樹 (呼吸器内科)
- 伊藤 太一 (呼吸器内科)
- 川上 公宏 (血液内科)
- 川口 朋宏 (循環器内科)
- 津島 龍 (循環器内科)
- 平 佑貴 (脳神経内科)
- 澤田 ひかり (内科)
- 石濱 佐和子 (内科)
- 岡林 弘樹 (消化器・一般外科)

- 藤原 亮太 (消化器・一般外科)
 - 松本 眞琴 (消化器・一般外科)
 - 妹尾 知哉 (呼吸器外科)
 - 成宮 悠仁 (心臓血管外科)
 - 中村 大 (整形外科)
 - 久保田 耕作 (整形外科)
 - 勝部 璃子 (形成外科)
 - 日下 智陽 (小児科)
 - 鎌田 恭輔 (産婦人科)
 - 川島 修 (眼科)
 - 森脇 悠利 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
 - 五反田 倫子 (麻酔科)
 - 中谷 真大 (麻酔科)
 - 小野 早和子 (病理診断科)
 - 川田 洋一 (へき地)
 - 浅田 和志 (研修医)
 - 安部 裕貴 (研修医)
 - 大倉 健 (研修医)
 - 大西 悠幹 (研修医)
 - 大西 将統 (研修医)
 - 木村 優太 (研修医)
 - 組橋 佳純 (研修医)
 - 斎藤 賢寿 (研修医)
 - 十河 なお (研修医)
 - 山内 豊 (研修医)
 - 依田 知也 (研修医)
 - 藤澤 綾香 (歯科研修医)
- (4月21日付)
- 河田 健吾 (乳腺・内分泌外科)



広報誌「れんけい」バックナンバーがご覧いただけます。

発行者 香川県立中央病院 高口 浩一
編集 広報委員会

〒760-8557 高松市朝日町一丁目2番1号
TEL (087)811-3333 FAX (087)802-1160

医師の人事異動

転入

- ①出身大学 ②卒業年
- ③趣味 ④抱負

(4月1日付転入)



まつむら しゅうじ
松村 周治
(総合診療科)

- ①岡山大学
- ②平成7年
- ③映画鑑賞
- ④患者様の幸せにつながる医療を目指して尽力したいと思っています。



なかにし あきら
中西 彬
(消化器内科)

- ①岡山大学
- ②平成30年
- ③映画
- ④色々ご迷惑をおかけすると思いますが、1日でも早く慣れるように頑張ります。よろしくお願ひ致します。



おおかわ じゅんぺい
大川 純平
(消化器内科)

- ①自治医科大学
- ②平成29年
- ③体を動かすこと
- ④初期研修を修了したこの病院で働けることを嬉しく思います。精一杯頑張りますので、よろしくお願ひいたします。



うきた けんたろう
浮田 健太郎
(呼吸器内科)

- ①自治医科大学
- ②平成31年
- ③カメラ
- ④呼吸器、総合診療を通して、地域との良好な連携に貢献したいです。



まつうら ひでき
松浦 秀樹
(循環器内科)

- ①兵庫医科大学
- ②令和2年
- ③デザイン・ヴィオラ
- ④せめて皆様のお役に立てるように頑張ります。



なかだ ゆみ
中田 有美
(脳神経内科)

- ①香川大学
- ②平成31年
- ③音楽鑑賞、紅茶
- ④患者さんや地域に貢献できるように尽力します。宜しくお願いします。



こんどう だいすけ
近藤 大祐
(呼吸器内科)

- ①徳島大学
- ②平成31年
- ③ドライブ
- ④多くのことを学ぶとともに、皆様のお役に立てればと存じます。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひします。



なだ ともあき
奈田 知明
(脳神経内科)

- ①岡山大学
- ②平成31年
- ③ドライブ、旅行
- ④日々研鑽を怠らず成長すると共に、患者様へ貢献できるように頑張ります。



すい けんた
須井 健太
(消化器・一般外科)

- ①岡山大学
- ②平成17年
- ③音楽・野球
- ④自分にできることをひとつずつやっていきたいと思っています。



いわた かずま
岩田 一馬
(消化器・一般外科)

- ①山口大学
- ②平成26年
- ③テニス、料理
- ④安心・安全な医療を心掛けてまいります。よろしくお願ひ致します。



きのした しんさく
木下 新作
(消化器・一般外科)

- ①香川大学
- ②平成29年
- ③旅行
- ④まだまだ未熟者ではありますが、香川県の医療に貢献できる様、精一杯頑張ります！よろしくお願ひします。



なかしま あきひろ
中嶋 章裕
(呼吸器外科)

- ①岡山大学
- ②令和3年
- ③旅行、アニメ鑑賞
- ④少しでも貢献できるように、日々診療していきますので、よろしくお願ひいたします。



ばば ともひろ
馬場 倫弘
(呼吸器外科)

- ①岡山大学
- ②令和3年
- ③筋トレ、読書、バスケ
- ④一人でも多くの患者様に笑顔と健康を届けられるように、精一杯頑張りたいと思います。



みよし ゆういちろう
三好 雄一郎
(乳腺・内分泌外科)

- ①岡山大学
- ②平成20年
- ③勉強
- ④外科研修を経て、大学院で乳腺病理を学び、研究に専念しました。また、乳癌診療に従事し、専門性を高めました。御指導の程、お願ひします。



さじ まりえ
佐治 万里江
(乳腺・内分泌外科)

- ①香川大学
- ②令和3年
- ③バドミントン
- ④医師としてまだまだ未熟者ではありますが、日々精進して参りますので、ご指導の程よろしくお願ひ致します。



かとう しゅうたろう
加藤 秀太郎
(心臓血管外科)

- ①徳島大学
- ②平成29年
- ③音楽・映画鑑賞など
- ④患者さんに誠実に向きあい、心臓血管外科の一員として、最善の医療を提供できるよう、精一杯診療にあたります。



はせがわ つばさ
長谷川 翼
(整形外科)

- ①大阪医科大学
- ②平成30年
- ③スキー、スノーボード、ドラム、筋トレ、ドライブ、自転車
- ④精一杯がんばりますので、よろしくお願ひいたします。



はせがわ ゆうた
長谷川 雄大
(形成外科)

- ①愛媛大学
- ②平成27年
- ③バイク、ダーツ、お菓子作り
- ④香川県の地域医療に貢献できるように頑張ります。



しおつき さき
塩月 咲希
(形成外科)

- ①香川大学
- ②令和3年
- ③旅行、ボードゲーム
- ④日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



とよしま ももこ
豊嶋 桃子
(小児科)

- ①香川大学
- ②平成31年
- ③水泳
- ④患者さんやご家族から信頼してもらえる診療を心がけて、日々精進します。

医師の人事異動

転入

- ①出身大学 ②卒業年
- ③趣味 ④抱負

(4月1日付転入)



なかの てるよし
中野 輝権
(泌尿器科)

- ①高知大学
- ②令和3年
- ③映画、バスケットボール
- ④至らぬ点多々あると思いますが、精一杯がんばりますので、ご指導の程よろしくお願いたします。



の だ ゆうすけ
野田 裕介
(眼科)

- ①香川大学
- ②令和2年
- ③テニス、ギター、旅行
- ④香川の地域医療に貢献できるよう尽力します。よろしくお願申し上げます。



の だ み の り
野田 実里
(耳鼻咽喉科)

- ①岡山大学
- ②平成26年
- ③旅行
- ④香川県の医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願致します。



やすとみ な な こ
安富 苗波子
(麻酔科)

- ①徳島大学
- ②平成30年
- ③ゴルフ、パン屋さん巡り
- ④安心して手術を受けられる環境づくりに努めてまいります。よろしくお願いたします。



こばやし おさむ
小林 収
(麻酔科)

- ①岡山大学
- ②昭和54年
- ③ゴルフ、テニス、音楽
- ④頑張ります。



おおにし ゆい な
大西 祐以奈
(研修医)

- ①香川大学
- ②令和5年
- ③ドライブ
- ④自分なりに精一杯頑張ります！



お ざ き
尾崎 いろは
(研修医)

- ①徳島大学
- ②令和5年
- ③スポーツ観戦
- ④2年間で少しでも多くのことを学べるよう努力します。よろしくお願いたします。



さいとう ひろし
斉藤 寛
(研修医)

- ①鳥取大学
- ②令和4年
- ③ゴルフ
- ④少しずつ丁寧に努力して、がんばります。



たけうち ち さ と
竹内 千智
(研修医)

- ①徳島大学
- ②令和5年
- ③ドラマ、映画鑑賞
- ④未熟者ですが、精いっぱい頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



たに かず き
谷 和樹
(研修医)

- ①旭川医科大学
- ②令和5年
- ③ゴルフ、酒
- ④多くのことを学び、吸収していきたいです。



つじ しゅうへい
辻 修平
(研修医)

- ①川崎医科大学
- ②令和5年
- ③酒、ゴルフ
- ④患者さんの苦痛や不安を取り除けられる医師を目指して2年間しっかり学びます。



なかむら のぞみ
中村 望
(研修医)

- ①岡山大学
- ②令和5年
- ③運動、音楽
- ④精一杯がんばります。よろしくお願いたします。



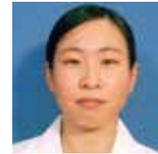
なかむら りょうま
中村 竜馬
(研修医)

- ①香川大学
- ②令和5年
- ③ゴルフ、カフェ巡り
- ④香川県の地域医療を支える医師になれるように精一杯頑張ります。



ながの けいご
永野 圭悟
(研修医)

- ①香川大学
- ②令和5年
- ③酒、ゴルフ、運動
- ④頑張ります。よろしくお願いたします。



にしもと し お り
西本 志緒里
(研修医)

- ①香川大学
- ②令和5年
- ③パドミントン、パン屋さん巡り
- ④自分のペースで地道にコツコツがんばりたいと思います。充実した2年間にしたいです。



おぎの かずき
荻野 和樹
(研修医)

- ①自治医科大学
- ②令和5年
- ③読書
- ④早寝、早起き



なんき こうすけ
南木 航佑
(研修医)

- ①自治医科大学
- ②令和5年
- ③ドライブ、ゴルフ
- ④香川県に貢献できる医師になるために精一杯頑張ります。



みやい ひであき
宮井 秀彬
(研修医)

- ①自治医科大学
- ②令和5年
- ③散歩
- ④できるだけ多くの患者さんの力になれるよう、精一杯頑張ります。



いとう なおき
伊東 直輝
(歯科研修医)

- ①東京歯科大学
- ②令和5年
- ③ゲーム
- ④慣れないことが多くあり、ご迷惑をおかけしますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。

